

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-252060

(43)公開日 平成8年(1996)10月1日

(51)Int.Cl.*

A 01 M 29/00

識別記号

府内整理番号

F I

A 01 M 29/00

技術表示箇所

B

H

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全3頁)

(21)出願番号 特願平7-86521

(22)出願日 平成7年(1995)3月16日

(71)出願人 595053618

石田 純彦

大阪府南河内郡美原町真福寺121の11

(71)出願人 595053629

富永 輝雄

大阪府大阪市平野区加美東3-4-14

(72)発明者 富永 輝雄

大阪府大阪市平野区加美東3-4-14

(72)発明者 石田 純彦

大阪府南河内郡美原町真福寺121の11

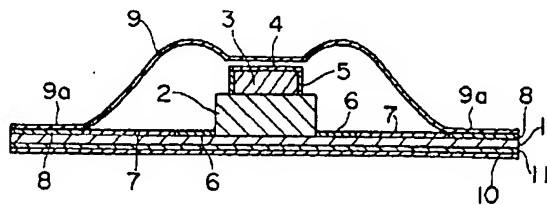
(74)代理人 弁理士 早川 誠志

(54)【発明の名称】鳥類飛来防止装置

(57)【要約】

【目的】小型で簡単な構造でありながら充分な鳥類飛来防止ができる装置を提供すること。

【構成】基板と、前記基板のほぼ中央に取付けられた永久磁石と、前記永久磁石の少なくとも上面、側面、あるいはその外周に設けられた反射体と、前記基板に取付けられ、前記永久磁石及び前記反射体を囲むように膨出した透明カバーとを設けて、動物の擬似眼球状に構成することによって、鳥類の飛来を防止する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】基板と、

前記基板のほぼ中央に取付けられた永久磁石と、
前記永久磁石の少なくとも上面、側面、あるいはその外周に設けられた反射体と、
前記基板に取付けられ、前記永久磁石及び前記反射体を囲むように膨出した透明カバーとを設けて、動物の擬似眼球状にしたことを特徴とする鳥類飛来防止装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は鳥類飛来防止装置に関する。

【0002】

【従来の技術】鳩や鳥などの鳥類の脱糞公害が都市部やその近郊で問題となっており、鳥類を近寄らせぬようする様々な工夫が従来よりなされている。その代表的な例として、永久磁石の設置によって鳥類の方向感覚を狂わせる異常磁場を発生させることができが実開平1-14681号、特開平3-65132号、特開平2-92228号、実開平4-52485号、実開平4-65086号、実開平5-85282号などで提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、実開平1-146881号、特開平3-65132号、特開平2-92228号、実開平4-52485号、実開平4-65086号の装置はいずれも装置が複雑で大規模な構造でコスト高となっていた。また、実開平5-85282号は小型で簡単な構造ではあるが、単にシート状マグネットを接着するだけの構造なので、鳥類飛来防止に充分な効果は期待できなかった。本発明は小型で簡単な構造でありながら充分な鳥類飛来防止ができる装置を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するためには本発明では、基板と、前記基板のほぼ中央に取付けられた永久磁石と、前記永久磁石の少なくとも上面、側面、あるいはその外周に設けられた反射体と、前記基板に取付けられ、前記永久磁石及び前記反射体を囲むように膨出した透明カバーとを設けて、動物の擬似眼球状にしたことを特徴としている。

【0005】

【作用】このように構成したため、本発明の鳥類飛来防止装置は小型、簡単な構造であって、屋根、ベランダ、その他種々の場所に配置すれば、永久磁石の異常磁場の発生で鳥類を忌避させると共に、透明カバーを通して内部の永久磁石や反射体によって動物の擬似眼球状にしたため、これによっても鳥類を忌避させる。

【0006】

【実施例】図1は本発明の一実施例であって、円板状の基板1の上面中央には円柱状の永久磁石2が接着あるいは

2

はネジ止めなどの適宜方法で固定されている。永久磁石2の上面には、永久磁石2より小径の円柱状の永久磁石3が接着あるいはネジ止めなどの適宜方法で固定されている。

【0007】これらの永久磁石2、3が異常磁場を発生して鳥類の方向感覚を狂わせて、鳥類を忌避させることができる。小径の永久磁石3の上面には、例えば赤色のシート4が接着などの適宜方法で取付けられている。さらに、この永久磁石3の側周面には、例えば銀色の反射性のあるシート状の反射体5が接着などの適宜方法で取付けられている。

【0008】大径の永久磁石2の下端部外周を取り囲んで、例えば銀色の光反射性のあるシート状の反射体6が、接着などの適宜方法で、基板1の上面に取付けられている。

【0009】この反射体6の外側には、例えば黄色のシート7が、接着などの適宜方法で、基板1の上面に取付けられている。円形の黄色のシート7の外側には、例えば銀色の光反射性のあるシート状の反射体8が、基板1の上面に取付けられている。永久磁石2、3を囲むように上方へほぼ山型に膨出した透明カバー8のドーナツ状の基端部9aが、最も外側のドーナツ状の反射体8の上面に接着などの適宜方法で取付けられている。

【0010】従って、この円形で山型に膨出した透明カバー9を通して、内部の中央の赤色のシート4、その外側の円形の銀色の反射体5、その外側の黒色の円形の永久磁石2、その外側の円形の銀色の反射体6、その外側の円形の黄色のシート7を外部から見ることができ、円形の色彩のシート4、7や永久磁石2の黒色や反射体5、6、8と、円形に膨出した透明カバー9によって、全体が動物（特に肉食の猛禽類）の擬似眼球状に構成されていて、鳩などの鳥類を畏怖させることができる。

【0011】なお、透明カバー8を通して銀色の反射体5、6からの反射光が複雑に屈折するが、例えばこの透明カバー9の中央より外側において円周方向に波形に形状を屈曲させれば、反射光が一層複雑に屈折するため、鳥類を一層ギョッとさせる忌避作用が増大する。

【0012】なお、図3のようにこの透明カバー9の内面をダイヤカットのようなギザギザ面9aに加工すれば、一層複雑に光が屈折し乱反射するため、一層効果的である。基板1の裏面には、表面に剥離シート10が取付けられた接着シート11を取付ければ、剥離シート10を剥離させて、屋根、ベランダ、その他任意の場所に接着して固定することができる。また、このような接着シート11を設ける代わりに、ネジや釘などで直接任意の場所に固定してもよい。

【0013】なお、前記実施例では大径、小径の2つの永久磁石を用いているが1つのみでもよい。また、反射体や色彩のシートの配置も前記実施例以外の異なる配置にしてもよい。

50

3

【0014】また、図4に示すように2つの鳥類飛来防止装置の裏面を背中合わせに接着させるか、あるいは2つの磁石2、2を吸着させ、端部に貫通穴20を設けて、リング21、鎖22などで吊るして用いることもできる。このようにすれば、鳥は屋根のひさしの下など奥まった所に巣を作ることが多いので、ひさしの下などに吊るせば、鳥の飛来防止に大きな効果を発揮する。

【0.015】

【発明の効果】以上のように本発明の鳥類飛来防止装置は、基板と、前記基板のほぼ中央に取付けられた永久磁石と、前記永久磁石の少なくとも上面、側面、あるいはその外周に設けられた反射体と、前記基板に取付けられ、前記永久磁石及び前記反射体を囲むように膨出した透明カバーとを設けて、動物の擬似眼球状にしたので、磁石によって生じる異常磁場で鳥類の方向感覚を狂わせ、肉食の猛禽類の眼球に擬似させてあるため、内部からの太陽光の反射光が透明カバーで複雑に屈折させることと合わせて、鳥類をギョッとさせて忌避させるため、

4

鳩や鳥などの鳥類が飛来して来るのを防ぐことができる。しかも、従来のような大がかりな装置でなく、小型、軽量、簡単な構造となり、コスト低下を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す縦断面図

【図2】図1における透明カバーの正面図

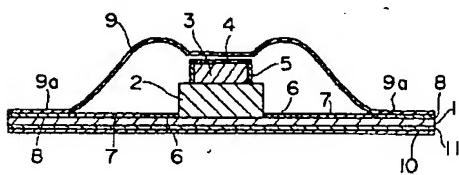
【図3】透明カバーの他の実施例の断面図

【図4】本発明の他の使用例を示す断面図

10 【符号の説明】

- 1 基板
- 2、3 永久磁石
- 4 シート
- 5、6 反射体
- 7 シート
- 8 反射体
- 9 透明カバー

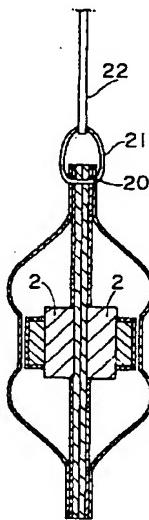
【図1】



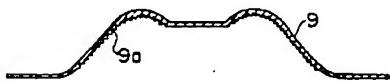
【図2】



【図4】



【図3】



DERWENT-ACC-NO: 1996-492316
DERWENT-WEEK: 199649
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Bird e.g. pigeon, crow repelling appts for air port - in which permanent magnet and reflecting body are enclosed with transparent cover to resemble eye of bird hunting animal

PATENT-ASSIGNEE: ISHIDA S[ISHII], TOMINAGA T[TOMII]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0086521 (March 16, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES	MAIN-IPC	
JP 08252060 A	October 1, 1996	N/A
003	A01M 029/00	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 08252060A	N/A	1995JP-0086521
March 16, 1995		

INT-CL (IPC): A01M029/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 08252060A

BASIC-ABSTRACT: The appts has a substrate (1). A lower and upper permanent magnets (2,3) are positioned at the center of the substrate and contacts each other. A reflecting coating layer (5) is given to the upper magnet at the whole surface and encloses it. A reflection body (8) is installed on the substrate enclosing the bottom peripheral side of the lower magnet.

A transparent cover (9) is installed on the substrate to enclose the permanent magnet and the reflecting body. The transparent has double convex shapes. So

when light reflects from the reflector in whole system
resembles a bird hunting
animal's eye.

ADVANTAGE - Maintains compact and simple structure.
Reduces constructional
cost.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS:

BIRD PIGEON CROW REPEL APPARATUS AIR PORT PERMANENT MAGNET
REFLECT BODY ENCLOSE
TRANSPARENT COVER RESEMBLE EYE BIRD HUNTING ANIMAL

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1996-415190